

act1

○仙台市 青葉区 勾当台公園 昼

空は晴天で暑い。

野外音楽堂前のベンチで雑談しているユリ、玲奈、セイヤ、アヤ、サチコ。

小型の扇風機で涼んだり、アイスや飲み物を飲んでいる5人。

ユリ：今日のレッスンも疲れたー

アヤ：最近どう？

玲奈：ユリがセリフ読みに付き合ってくれてるから良くなってる気がする

セイヤ：良い人ぶってる

ユリ：ぶってるってなによ！

玲奈：あれ拓ちゃんじゃない？

公園内を横断し三越の方へ向かう拓真。

5人が拓真に手を振ると近づいてくる拓真。

玲奈：今日レッスンなかったよね？

拓真：おねえさんにスマホを買ってもらったので、事務所に教えにきました

サチコ：その電話で連絡すれば…

玲奈：そういうこと言わない。拓ちゃん良かったね

拓真：とても嬉しいです

話している横を長袖を着た小柄な女性が歩いていく。

横を通り過ぎる時に、横目で5人を見て鼻で笑って通り過ぎる。

玲奈：なにあいつ

ユリ：気分悪い

セイヤ：お前らヤンキーかよ

ユリ：私は玲奈とは違うし

玲奈：私も元ヤンじゃねえし

サチコ：…なんかあの人

アヤ：どしたの？

サチコ：見たことある

アヤ：夏に長袖着てる人なんかあんまりいないから、どっかですれ違ったことあるんじゃない？

サチコ：…

女性が歩き去った後を見るサチコ。  
空に雨雲が出てくる。

act2

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 昼

スタジオの床に座っているレッスン生達。  
生徒達の前に立ち新しいレッスン生を紹介する荏原。

荏原：今日からこのクラスでレッスンを受ける…自己紹介してください

春奈：今日から皆さんとレッスンを受ける亀山春奈です。宜しくお願いします

荏原：春奈さんはダンスのクラスにレッスンを受けていたそうです…なんでこっちに移ってきたの？

春奈：演技に興味があったし、先生の噂も聞いたので受けてみたいと思ったんです

荏原：噂って？

チヒロ：どんな生徒にも平等に接してくれて、みんなに人気があるって

荏原：ダンスの先生だって悪い先生じゃないでしょ

春奈：あの先生から…セクハラを受けました

荏原：事務所に言ったの、それ

春奈：ストーカーみたいにしつこくて怖かったの…

荏原：社長に言おうか？

春奈：いえ、良いんです。オレ、バイト先でも同じようなことがあって、隙を見せたあなたも悪いみたいに言われたから…夢があるのでここで揉め事は起こしたくないんです

荏原：いや、いいよ。そういうことがあったっていうのも知っておいた方が良くから

春奈：すみません

荏原：まあ、その話はさて置き、レッスンはじめていきましょう！

手を叩く荏原。

act3

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 夕方

長テーブルで書類を書いて整理している荏原。  
急いでいる様子。

静かに近づいてくる影が床に映る。

顔を上げる荇原。

春奈が笑顔で立っている。

荇原：うわっ、どうした？

春奈：今日はありがとうございました

書類を整理しながら応える荇原。

荇原：初日だからわからないことも多いと思うけど、みんないい奴だから慣れていくよ

春奈：はい…

荇原：どうした？

春奈：急いでるのかと思って

荇原：ちょっとな

act4

○仙台市 芸能事務所 スタジオ控室

玲奈、ユリ、アヤ、セイヤ、サチコ、拓真は帰り支度をしている。

玲奈：あの人、自分のことオレって言ってたね

セイヤ：ホントは男なのかな？

アヤ：たまに女の人でもボクとかオレって呼ぶ人たまにいない？

サチコ：……痛い人…

セイヤ：お前は毒吐きすぎ

控室から出ようとする荇原が早足で通っていく。

ユリ：そんな急いでどこに行くの？

荇原：教習所だよ

ユリ：車の免許なかったの？

荇原：東京暮らしが長かったからな、じゃあ急ぐから

階段で降りていく荇原。

お疲れ様でしたーと挨拶する5人。

エレベーター前出待つ5人。

ユリ：先生免許撮ったらドライブ連れてってもらおうよ！

玲奈：いいね、楽しみ！

セイヤ：またお前らは勝手に決めて

玲奈：いいじゃんねー、拓ちゃんもいきたいよねー

拓真：はい

サチコ：生命保険に入っておかないと…

笑う5人。

エレベーターが到着して乗り込む5人。

いつの間にか後ろに春奈が並んでいる。

全員が乗ろうとすると店員オーバーになる。

春奈：…

ユリ：…

玲奈：私と拓ちゃんは階段で行くから。拓ちゃんもいいよね

拓真はシャツの裾をいじりながらコクンと頷く。

act5

○仙台市 芸能事務所 エレベーター内

ユリ、セイヤ、アヤ、春奈が乗っている。

ユリは春奈の方を見ている。

春奈は上についている階数表示を見ている。

ユリ：お礼位してもいんじゃない？

春奈は視線をユリに落として。

春奈：だれに？

ユリ：玲奈と拓ちゃんに

春奈：あんたにお礼しろって言われてるのかと思った…偉そうに

エレベーターが到着し扉が開く。

春奈は降りて出口に歩いていく。

ユリ：ちょっと待ちなさいよ！

春奈：あんまイジメないでください。オレイジメられてるって先生に相談しようかな

ユリ：先生に何の関係あるの？

春奈：さっき困ったことがあったらいつでも相談しろって

春奈は去っていく。

階段で降りてくる玲奈と拓真。

玲奈：どうしたの？

ユリ：なんなのあいつ！

act6

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 控室 夕方

ユリとアヤは帰り支度をしながら談笑している。

アヤ：あの動画ヤバいよねー

ユリ：ヤバいやババ、スゴいやバかった

入室してくる春奈。

ユリ：…

アヤ：…お疲れさま

春奈：オレが先生と仲良くしようとしたからって悪口言うのやめてくんない

アヤ：言っていない

春奈：ヤバい、ヤバいってオレのことでしょ？文句があるなら直接言ってくれない？オレが先生と仲良くしようとするのがムカつくって！

ユリ：あんた何言ってるの？

アヤ：動画の話してただけだよ

春奈：ホントムカつくんだよね

ロッカーの扉を乱暴に閉めて出ていく春奈。

ユリ：なんか違うよ、あの人

アヤ：うん

act7

○仙台市 芸能事務所 ビル エレベーター

拓真と玲奈がエレベーターに乗ろうとする。  
春奈が無言で乗ってくる。

玲奈：スタジオでいいの？

玲奈がエレベーターのボタンを押そうとする。  
乱暴に事務所の階のボタンを押す春奈。  
腕まくりをしていた春菜。  
無数のリストカットの跡がみえる。  
事務所の階に到着し降りる春菜。  
拓真は玲奈の手を握る。

act8

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 夜

荏原は一人、席に座り書類の記入等をしている。  
急いでいる様子の荏原。

荏原：今日は学科かぁ

春菜がスタジオに入ってくる。

春菜：先生

荏原：どうした？忘れ物か？

春菜：先生に話したいことがあって

荏原：あまり長い時間は無理だけど

春菜：オレって嫌われてるんですかね？

荏原：そんなことないだろ

春菜：先生を慕う生徒達から嫌われてるみたいで

荏原：誰のこと？

春菜：この前ユリさんとアヤさんがオレの悪口言ってる所を偶然聞いてしまって

荏原：そういう奴らじゃないけどな

春菜：それに玲奈さんにはエレベーターの中で話しかけたんだけど返事もしてくれなく

て。オレ人見知りだから、うまく話せないけど本当は仲良くしたいんです…けど嫌われちゃったみたいで

荇原は時計が気になる。

荇原：あいつらに話してやるよ

春菜：止めてください！そんなことされたらオレここに来づらくなっちゃう

荇原：でもアイツらはそんな人間じゃないよ？勘違いじゃないの？あまり話したこともないんだし

荇原は時計を見る。

春菜：やっぱり先生も付き合いの長い方達を信用しますよね

荇原：そうじゃなくてさ…ごめん、オレ教習所行かなきゃならないんだ。もう間に合わなくなっちゃう。また話は聞くから

荷物をまとめてレッスン場を出ようとする荇原。

春菜：良かったら送りますよ

act9

○ 仙台市 春菜の運転する車 車内

春菜が運転し荇原は助手席に乗っている。

荇原：悪いな…乗せてもらって

春菜：良いんです、オレが引き止めちゃったんで

荇原：いつもレッスンに車で来てるの？

春菜：はい。人混みが苦手で

荇原：…じゃあ東京には住めないな

春菜：そうですね

信号待ちの車内。

春菜は腕まくりをする。

春菜の手首はリストカットのあとで傷だらけになっている。

かさぶたになって最近切ったような跡もある。  
荇原は目をそらして助手席の窓を見る。

春菜：…ごめんなさい…驚かせちゃいましたよね  
荇原：いや、見るつもりじゃなかったんだ  
春菜：オレ昔から嫌なことがあるとつい切っちゃうんです…  
荇原：ついつい切っちゃうのは…そういうのは止めた方がいいぞ  
春菜：もうすぐ着きます…地下鉄より早かった

無邪気に笑う春菜。

荇原：…

窓を見る荇原を横目で見te笑いをこらえる春菜。

act10

○仙台市 教習所 春菜の車 車内 夜

荇原：ありがとな、助かったよ  
春菜：良いんです。オレこそお話聞いてもらって嬉しかったです。今度いつ教習所あるんですか？  
荇原：来週かな  
春菜：また、送らしましょうか？  
荇原：いや、大丈夫大丈夫  
春菜：…またお話聞いてもらえますか？不安で…  
荇原：もちろんだよ。生徒の相談にのるのも仕事の一つだし  
春菜：先生と連絡先の交換したいな…  
荇原：生徒とは連絡先の交換は出来ないんだよ

手首の傷を見る。

春菜：…また今日も切ってしまうかも  
荇原：だめだよ、そんなことしちゃ  
春菜：自分では止められないんです  
荇原：…  
春菜：もし先生の声が聞けたら止められるかも…でもむりですよ

傷をさす春菜。

荇原：わかったよ

荇原は春菜の手首を見ながら。

荇原：個人的な連絡じゃなく、それを止めるためにだからね

春菜：はい。わかっています。嬉しい…学科頑張ってください

車を降りる荇原。

教習所の入口へと向かう荇原。

車内でその姿を見つめる春菜。

春菜：ラクショー

笑いながら車を発信させるチヒロ。

act11

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 昼

玲奈、ユリ、アヤ、セイヤ、サチコ、拓真、その他沢山の生徒達がいる。

その中に春菜もいる。

荇原：じゃあ、今日のレッスンはここまでにします！お疲れ様でした！

生徒達：お疲れ様でしたー！

春菜はお疲れ様でしたと言い終わると同時に荇原の元に歩いていく。

春菜：今日の演技はどうでしたか？

荇原：まだオレのレッスンは始めたばかりだけど悪くないと思うよ

春菜：先生のレッスン楽しいです

荇原：楽しみながらやるのが一番だからね…

少し困惑気味の荇原。

その様子を見ているユリと玲奈は目を合わせる。

ユリ：何あれ？

玲奈：知らない…馴れ馴れしくね？

アヤ：先生も、何か気を使ってる感じするけど

春菜はその視線に気づいている。

春菜：先生のレッスンもっと受けたいです。個人レッスンとかはしてないんですか？

荏原：特定のレッスンに対してそういうことは出来ない契約だから

春菜：残念…

春奈は荏原に耳打ちする。

春奈：また先生にお話聞いてもらえるの楽しみにしてます

荏原：いや、普通に相談には誰のでも乗るからさ…

春奈：お疲れ様でした

春奈は勝ち誇った顔で、ユリや玲奈、アヤ達の傍をわざと通りロッカーへ向かう。

ユリ：マジムカつく

玲奈：ね

ため息をつきながら椅子に座り、書類に目を通す荏原。

act12

○仙台市 教習所 ロビー 夜

荏原はソファに座り講習開始を待っている。

時計を見ると 19：45

技能講習の教本を開く荏原。

スマートフォンの呼び出し音が鳴り荏原はスマートフォンを取り出す。

画面には春奈からメッセージ。

「先生…。」

すぐに画像が送られてくる。

リストカットして手首から血が流れている画像。

荏原はすぐメッセージを送る。

返信はこない。

荏原は時計を見てから、教習所の外へ飛び出し電話をかける。

電話は繋がらない。

教習所の中からアナウンスが流れる。

アナウンス：20時から技能講習を受講の方は待合室でご準備下さい

荏原は教習所内に戻っていく。

act13

仙台市 教習所 夜 同日

教官と荏原は階段を上がってくる。

教官：ちゃんと集中して受講しないとダメですよ

荏原：すみません

教官：あれじゃ判子押せないです。次回はちゃんと集中して受講なさって下さい

荏原：はい…気をつけます

教習所の外へ出る荏原。

スマートフォンを確認するが通知はない。

既読もついていない。

act14

○仙台市 荏原の自宅 寝室 深夜

電気の消えた寝室。

寝返りを繰り返し眠れない荏原。

スマートフォンを確認すると3:00。

着信もない。

スマートフォンを枕元に戻す。

外から救急車のサイレンが聞こえる。

荏原は起き上がる。

荏：まさかな…

再び布団に横になる荳原。  
しばらくすると寝返りをうつ。

act15

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 昼

荳原は疲れた表情。  
まだ誰もレッスン場には来ていない。  
荳原はいつものテーブルとイスに座っている。  
春奈がレッスン場へ入ってくる。

荳原：お前、大丈夫だったの？

春奈：何がです？

荳原：何がって…あの画像…

春奈：あれは前に撮った写メですよ…先生のおかげでこういうことしなくなりましたって、送信したんです

荳原：あの後すぐ連絡したけど既読もつかないし電話には出ないし…

春奈：寝落ちしてました

ユリ、アヤ、セイヤ、サチコがレッスン場に入ってくる。  
春奈は横目でそれを見て

春奈：いくらオレが心配だからって着信 5 件も 6 件もは少し怖かったです

荳原の方を振り向く 4 人。

荳原：いや、それは…

春奈：また教習所に送って行ってあげますから車の中で話しましょ

荳原：…

ユリはドスドスと控室に向かう。  
後を追いかけるアヤ、サチコ。  
やれやれという顔のセイヤ。  
玲奈がレッスン場に入ってくる。  
玲奈はセイヤに話しかける。

玲奈：どうしたの？

セイヤ：何でもない

act16

○仙台市 教習所 昼

ロビーに座っている荻原。

荻原に教官が近づく。

教官：今日は仮免試験ですがいつも通り緊張しないでリラックスして受けて下さいね

荻原：はい

教官が他の生徒たちに声をかける。

スマートフォンが鳴る。

画面を見る荻原。

以前とは別のリストカットの画像。

荻原はため息をつく。

act17

○仙台市 荻原の自宅 リビング 夜

荻原はテレビを見ながらビールを飲んでいる。

スマートフォンが鳴る。

荻原：またか

画面を見るとメッセージが受信されている。

メッセージを開く。

画面「また切りたくなってきちゃった…。」

荻原は慌てて電話をするが出ない。

メッセージを送る。

暫く経っても返事はない。

荻原はテレビを見るが落ち着かない。

スマートフォンを持ったまま室内をウロウロする。

スマートフォンが鳴る。

慌ててスマートフォンを開く荻原。

画面は「あなたに特別なご案内です」

荇原：…………

スマートフォンをソファに放り投げる荇原。

act18

○仙台市 芸能事務所 ビル 階段

女性のレッスン生二人が階段で降りてくる。

レッスン生達とすれ違う荇原。

荇原：おはよう

レッスン生 A：おはようございます

よそよそしさを感じる荇原。

レッスン生 B：あの人生徒に手出すんでしょ？春奈って子言ってたよ

肩を落としゆっくり階段を上がる荇原。

下のほうでその姿を見つめるユリ。

act19

○仙台市 芸能事務所 スタジオ レッスン中

生徒 A と生徒 B がシーン稽古をしている。

荇原は集中していない。

生徒 A と生徒 B はシーンが終わってもいつもの終わりの合図(手拍子)がない為、戸惑って荇原を見る。

生徒 A：あの一、先生

荇原：どうした？

生徒 A：シーン終わりました

荇原：すまん、合図遅れたな

生徒 B：きちんと見ててくれましたか？

荇原：ああ、もちろん、見てたよ。

クスクス笑う春奈。  
春奈を睨みつける玲奈とセイヤ。

荏原：じゃあ、今日はここまでにします…お疲れ様でした

生徒達は座ったまま。

生徒達：お疲れ様でしたー

何も言わず出ていくユリ。

玲奈：ユリ！

唇を囁む玲奈。

act20

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 控室 夕方

ユリ、アヤが帰り支度をしている。  
奥の方には春奈がいる。  
玲奈が入ってくる。

玲奈：ねえユリ、最近どうしたの？

ユリ：何でもない…

玲奈：何でもないじゃないじゃん

ユリ：本当に何でもないから…

出ていくユリ。

玲奈：ねえアヤ、ユリどうしちゃったの？

アヤは春奈の方を見る。  
玲奈も春奈の方を振り返る。

春奈：コソコソ、立ち聞きでもしたんじゃないの？

玲奈：またお前か…

春奈は笑みを浮かべながら。

春奈：先生がオレを心配して何度も連絡をよこすの…何回も着信履歴があつて困っちゃうって…先生をオレに取られたのがショックだったのかな

勝ち誇った笑みでロッカーを出ていく春奈。

玲奈：アヤ、どういうこと？あいつが言ったのは本当なの？

act21

○仙台市 南町通り コインパーキング 夕方

春奈は車（赤い軽自動車）に向かって歩いてくる。

玲奈が走って追いかけてくる。

玲奈：ちょっと待ちなよ

春奈：なあに？

春奈の車の後ろには白いセダンが駐車してある。

車内には社長が乗っていて外の二人の様子をバックミラーで見ている。

二人は社長に気づいていない。

玲奈：一体なんのつもり？

春奈：何の話？

玲奈：先生がしつこく連絡してくるとか出鱈目言うなよ

春奈は手首の傷をさする。

春奈：ホントのことだよ。あの人…オレのこと凄く心配してくれるの

玲奈：その傷痕見せたんだろ？

春奈：見えちゃったかも

玲奈：お前卑怯な奴だな

春奈：卑怯？

玲奈：心配する気持ちにつけ込んで

春奈：つけ込んだりしてないよ。向こうが勝手に心配してるだけでしょ。他にもね、前に

リスカした時の画像も送っちゃった

玲奈は掌を握りしめる。

春奈：その後、もうこういうことはしてませんってメッセージ送るはずだったんだけど…  
寝落ちしちゃった

大笑いする春奈

春奈：悔しい？先生取られちゃって悔しいの？

玲奈：先生は心配してるだけじゃん

春奈：初めはみんなそうなの

玲奈：みんな？

春奈：初めはね、みんな心配だ心配だって…でもね…あの人オレのこと抱くよ絶対

玲奈：先生はそんな人じゃない

春奈：そうかなあ…バイトの店長も、同僚の男の子も、ダンスの先生も、みんな初めはそう  
言ってたのに抱いたよ、オレのこと

春奈は手首の傷痕をボリボリ搔く。

玲奈：最低だな

春奈：心配させるとオレを大切にしてくれるの。一番に気にかけてくれるの

春奈は手首の傷痕をボリボリ搔く。

春奈：あんたの事もユリって女のことも気に食わなかったの…ずっと

玲奈：ずっと？

春奈：ユリって女はいつも周りに家来みたいな奴ら侍らかしてるくせに、すました顔して  
先生、先生って猫なで声出しちゃって…ホントはあいつだって先生とやりたいんじゃない  
の？

玲奈：ユリはそんな人間じゃない！

春奈：あんたもさ、あの変な男といつも一緒にいて弱い者の味方ですみたいな顔してさ…  
偽善者みたい。そのくせ先生、先生って、あんたこそ男なら誰でもいいんじゃないの？

玲奈：お前と一緒にするな！

春奈：きっと今もオレのこと考えてるよ…大丈夫かな？大丈夫かな？リスカしないだろう  
な？って…ずっとオレのことだけ考えてもらえるようにするの。免許なんて絶対取らせな

い。オレが送り迎えしてあげるんだ、きっと先生も喜ぶよ

玲奈：お前狂ってる

春奈：あぁーすごく良い気持ち。自分を特別だと思ってる奴から大事な人を振り向かせた時って一番満たされる。けど、多分今晚も切るよ、オレ

春奈は左手の手首を右手の人差し指で切る仕草。

玲奈は春菜に掴みかかろうとする。

後ろからその手をセイヤが掴む。

玲奈：セイヤ

セイヤ：そんな頭のおかしい奴殴る必要ないよ

春菜：ユリの家来が来ちゃった

セイヤ：好きなように言いな。相手にしちゃダメだよ玲奈

玲奈：でも、こいつ

セイヤ：先生にも言っただけのになあ

春菜：家来の話は聞いてないんじゃないの？

セイヤ：お前とは話してない。いくよ玲奈、ユリもアヤもサチコも向こうで待ってる

玲奈：ユリも？

セイヤ：うん、だから行こう

春菜：作戦会議？

セイヤはチヒロに近づいて。

セイヤ：お前とは話してない

立ち去るセイヤと玲奈。

春菜は手首を掻きながら立ち去るのを見ている。

後ろの白いセダンの中からスマホ録画終了の切る音。

後ろを振り向く春菜。

act22

○仙台市 勾当台公園 ベンチ 夜

公園内を歩き交う人は少なく、遠くから若者達の騒ぐ声が聞こえる。

野外音楽堂前のベンチに一人座る荏原。

歩み寄る玲奈。

玲奈：なにしてんの？

荇原は振り向かずに返事をする。

荇原：玲奈…お前こそこんな時間になにしてんだ？

玲奈：もう見ないでも声だけで誰かわかるんだね

荇原：そりゃオレの生徒だから

玲奈：…あのね

荇原：どうした？

玲奈：先生はお医者さんじゃないでしょ？

荇原：…

玲奈：先生は演技の先生でしょ？

自嘲気味に笑う荇原。

玲奈：ごめん

荇原：いや、いいんだ

玲奈：前の先生に戻ってほしい

荇原：…変わったか？

玲奈：うん

荇原：わかった

玲奈：先生？

荇原：…わかったよ、玲奈。心配かけて悪かった

玲奈：わからず屋の先生なら殴ってやろうかと思った

荇原：元ヤンだもんな

玲奈：違う！

荇原：遅いから早く帰りなさい

玲奈：またスタジオで

荇原：ああ

立ち去る玲奈を見送る。

荇原：どうやらオレはみんなに心配かけてるみたいだな

後ろから声がかかる。

ヒロ：ホントだよ

荇原が振り向くとヒロが立っている。

act23

仙台市 青葉区 国分町 付近 路地

終電を過ぎた時間だが、にぎやかな雰囲気。

荇原とヒロは人通りの少ない方へ歩いていく。

ヒロ：セイヤが心配してた。ああいう奴は相手にしちゃダメなんだって。一度でも相手に  
するとかまってもらえると思って何でもしてくるって

荇原：あいつにも心配かけたな

ヒロ：兄ちゃんらしい

荇原：笑い事じゃないな

ヒロ：自分を犠牲にしても助けたくなるの？

荇原：そんなカッコイイもんじゃないよ

ヒロ：自分はどうなっても良いから、自分の気持ちを殺してでも助けたい？

荇原：……

ヒロ：東京のリオさん。兄ちゃん達は一緒になるって言ってたのに何で別れたの？

荇原：色々あったんだ

ヒロ：兄ちゃんは何の為に生きてるの？人の為なら自分はどうなってもいい…それで満  
足なの？

荇原：何が言いたい？

ヒロ：それで兄ちゃんは誰を幸せにできたの？頭のおかしいその女…そいつの為に動いて  
兄ちゃんはそいつを幸せに出来たの？出来る？兄ちゃんを慕う生徒達を幸せに出来た  
の？」

荇原：…

ヒロ：リオさんは…何でいなくなったの？リオさんの為に夢を諦めて仕事に着くって決め  
てたのに、何故いなくなったの？

荇原：それはあいつが無理矢理——

ヒロ：違うよ。兄ちゃんがそうやって人の為、人の為と言って自分を殺すからだ

荇原：何がわかる！？

ヒロ：わかるよ。リオさんは兄ちゃんの負担になりたくなかったんだ。きっと兄ちゃんは  
こういうよ…何も気にするな、オレの子として育てていくから心配するなって

荇原：……

ヒロ：リオさんはどう思う？どう思えばいい？また私の為にたっちゃんの心を殺させてしまった…ずっと自分を殺しながら人の為、人の為と言って生きていく…それに耐えられなかったから…その姿を見てられなかったから…自由に生きて欲しかったから兄ちゃんの前から姿を消したんじゃないの？

荇原：……

ヒロ：もう一度聞くよ…兄ちゃんはそのやり方で誰かを幸せにしたことがあるの？そのやり方で幸せにすることは出来るの？」

荇原：……

ヒロ：兄ちゃんはそれで幸せなの？

ヒロの方を見る荇原。

ヒロ：自分の為に何か出来ない人間が、人のために何か出来るの？自分を幸せに出来ない人間が、人を幸せに出来るの？オレは昔兄ちゃんを犠牲にしたから何の不自由もなく育ってきた。オレは今でも兄ちゃんが帰ってくるのをずっと家で待ってる。オレは兄ちゃんの邪魔は誰にもさせない…もっとさ自分を大切にしてくれよ。自分を殺すんじゃなく、自分の幸せを考えてほしい。自分のやりたい事を貫いてほしい…ごめん

立ち去るヒロ。

act24

○仙台市 泉区 運転免許センター近くの道路 午前

スマートフォンで話している荇原。

荇原：生徒と講師としての立場で話を聞くことは出来る。けど君のプライベートの問題に足を突っ込むことは出来ない。一人の人間として君の人生を一生支えていくことも出来ない。これからは生徒と講師として責任ある立場で話をさせてもらう。君のアドレスも消去するし、個人的なプライベートな連絡も今後一切受け付ける事は出来ない…ではまた、レッスン場で

スマートフォンの電源を切り、運転免許センターへ入っていく荇原。

act25

○仙台市 春菜の自宅 自室

モノに当たり散らす春菜。

肩で息をしているが、呼吸を整えて電話をかける。

春菜：もしもし、そちらでレッスンを受けている春菜です…社長いますか？はい、荇原先生に酷いことをされて…

泣くフリをする春菜。

act26

○仙台市 泉区 運転免許センター 夕方

免許センターから出てくる荇原。

免許を手に行っている。

歩きながらガッツポーズする荇原。

泉中央駅へと歩いていく。

act27

○仙台市 芸能事務所 社長室前 夜

荇原は緊張した面持ちでドアをノックする。

荇原：荇原です…失礼します

社長室へ入る荇原。

閉まる社長室のドア。

act28

○仙台市 芸能事務所 スタジオ 入口付近

ホワイトボードがあり、張り紙がしてある。

張り紙

「講師変更のお知らせ」

終